

# おきたま 米づくり情報 No.11

令和6年8月30日  
置賜農業技術普及課  
西置賜農業技術普及課

**中生品種はまもなく刈取適期です！**

**圃場間の生育差大！稲穂を確認し適期に刈取りを！**

○高温で成熟期が早まるため、積算平均気温 50℃前倒し

⇒**刈取り時期の目安が例年よりも7日程度早い！**

- ・ 8/3 出穂「はえぬき」「雪若丸」の適期刈取り期間は**9/7～9/17**
- ・ 8/8 出穂「つや姫」の適期刈取り期間は**9/15～9/24**

※7月中に出穂した圃場では籾の黄化が進んでいます！刈遅れに注意！

○全品種の出穂期間で胴割粒リスクの高い温度を超えています

⇒刈り遅れると**胴割粒の危険大！「つや姫」は特に刈遅れ注意！**

## 1 出穂の早晚や籾数の多少で登熟進度の差大きい！

○出穂は、平坦部「はえぬき」「雪若丸」が8月3日頃、「つや姫」、「コシヒカリ」が8月8日頃となり、平年より2日程度早まりました。

○穂揃期の生育は、穂数は少ない～多い、1穂籾数はやや少ない～多い、総籾数は少ない～多い状況です。

農業技術普及課 生育診断圃 穂揃期の生育・登熟状況

品種	地域	年次	出穂期	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	1穂籾数 (粒)	m <sup>2</sup> あたり籾数 (百粒/m <sup>2</sup> )	登熟状況 8/27 現在 (%)
はえぬき	川西町 吉田	R6	8/2	559	66.8	373	65.7
		平年	8/4	568	69.4	394	38.7
		平年比・差	<b>-2</b>	<b>98</b>	<b>96</b>	<b>95</b>	<b>+27.0</b>
	飯豊町 椿	R6	7/31	513	74.1	380	66.1
		平年	8/1	557	70.7	393	70.8
		平年比・差	<b>-1</b>	<b>92</b>	<b>105</b>	<b>97</b>	<b>-4.7</b>
つや姫	川西町 黒川	R6	8/6	522	72.8	380	33.5
		平年	8/9	509	71.5	355	14.1
		平年比・差	<b>-3</b>	<b>103</b>	<b>102</b>	<b>107</b>	<b>+19.4</b>
	飯豊町 椿	R6	8/7	483	75.7	366	35.7
		平年	8/9	488	72.2	352	33.0
		平年比・差	<b>-2</b>	<b>99</b>	<b>105</b>	<b>104</b>	<b>+2.7</b>
雪若丸	高畠町 山崎	R6	7/31	581	57.8	336	72.4
		平年	8/3	545	59.0	320	57.3
		平年比・差	<b>-3</b>	<b>107</b>	<b>98</b>	<b>105</b>	<b>+15.1</b>
	飯豊町 椿	R6	8/2	574	62.0	356	58.9
		平年	7/31	629	60.1	377	73.2
		平年比・差	<b>+2</b>	<b>91</b>	<b>103</b>	<b>94</b>	<b>-14.3</b>

## 2 稲穂をよく観察し適期内に刈取を終了しましょう！

○刈取時期は、出穂後の積算気温（下表）を目安とし、品種、ほ場ごとに

**①青籾歩合、②籾水分（25%）、③枝梗の黄化（3分の2以上）**等を確認して総合的に判断。計画的に刈取を開始し、適期内に終了しましょう。

出穂後積算気温による刈取適期の目安（平坦：高畠アメダス、中山間：高峰アメダス）

品種名	積算気温	刈始めの青籾歩合	出穂期（本年）	刈取り時期の目安
ひとめぼれ	900～1,050℃	15%	8月2日頃	9月5日～9月11日
はえぬき（平坦）	900～1,150℃	20%	8月3日頃	9月7日～9月17日
はえぬき（中山間）			8月5日頃	9月8日～9月18日
雪若丸	900～1,150℃	20%	8月3日頃	9月7日～9月17日
つや姫	950～1,150℃	15%	8月8日頃	9月15日～9月24日
コシヒカリ	950～1,150℃	15%	8月8日頃	9月15日～9月24日

※ 8月28日まで本年値、9月20日までは2週間予報、1ヶ月予報による予測値、以降は平年値を使用。

## 3 乾燥・調製は慎重に！

○収穫後は、速やかに乾燥機に張り込むことが基本ですが、すぐに乾燥できない場合には通風・循環を行い、ヤケ米の発生を防ぎます。

○高水分籾（水分25%以上）を急激に乾燥すると胴割れしやすくなるので注意が必要です。青籾が多い（籾水分のバラつきが大きい）場合は、「水分の戻り」に注意し、「夜間休止乾燥」や「二段乾燥」を行いましょう。

○籾すりは、籾を十分放冷し、適正水分であることを確認してから行います。籾すり前に必ず試しすりを行い、ロールの幅を調整し、肌ずれや胴割粒の発生を防ぎましょう。

○立毛中に胴割粒が多いと予想される場合は、通常の送風温度より5～10℃低めの送風を行い、毎時乾減率を0.6%以下とし、胴割粒増加を防ぎましょう。

○**良質米生産のために、1.90mm網目（LL）以上で選別します。**

○斑点米カメムシ類による着色粒や白未熟粒が発生した場合には、色彩選別機を活用し、品質向上に努めましょう。

## 4 雑草イネの発生に注意！

**穂を触ったら籾がポロポロ落ちる、**

**玄米に赤米が混じる場合は雑草イネの可能性大！**

置賜地域で主に赤いノゲが特徴の「背高型」と栽培品種とほぼ見た目が一緒の「擬態型」の2種の雑草イネが確認されています。雑草イネを見つけた場合は、すぐに最寄りの普及課やJAにご相談ください。



## 農作業事故・熱中症に注意！～あせらず！気もまず！農作業！

○収穫期はコンバインの事故が多発します。補助者の事故にも要注意。

○コンバインの詰まり除去や修理の際は、必ずエンジンを止めてから行いましょう。